



ますこ すはる 新聞



『臨床検査課』各部門紹介

2

月

号

臨床検査課は、生化学部門、血液・輸血部門、一般部門、生理検査部門、感染管理室の5つの部門から成り立っています。各部門のお仕事を紹介します。

生化学免疫部門

・腎臓や肝臓の機能、糖尿病や高脂血症など生活習慣病の状態を知るための検査、感染症の検査（肝炎マーカー等）、各種腫瘍マーカーを測定しています。

★正確で、精密な検査結果を提供できるように、日々メンテナンスを行い、年3回、外部精度管理調査にも参加しています。



一般部門

・提出された尿で、糖や蛋白、潜血などの定性検査、顕微鏡で細胞の種類や数、細菌の有無を判断する尿沈渣を行っています。

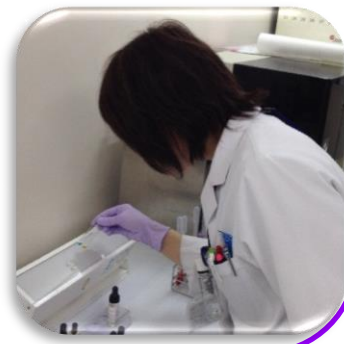


★患者さんひとりひとりの尿沈渣を検査技師の目で確認しています。

血液輸血部門

・赤血球・白血球・血小板の数
・血液が正常に固まるかの検査（凝固機能検査）
・血液型検査、献血された血液が輸血予定の方に適合するかの検査（クロスマッチ）

★特に血液型や輸血の検査は、写真のごとく昔ながらの試験管を使い、ひとつひとつ丹精こめて検査しています(^_^)



感染管理室

患者さんや医療スタッフが感染症にかからないようにするための対策や、感染症にかかってしまった場合の対応に関する業務を行っています。



≪業務内容の一例≫

- ・院内で発生したインフルエンザの集計と報告
- ・感染対策マニュアルや感染対策ニュースの作成
- ・輸血前後の感染症検査の集計と報告 など

生理検査部門

- ・心電図・・・不整脈・心筋梗塞がわかる。（12誘導心電図、24時間心電図、負荷心電図）
- ・肺機能検査
- ・CAVI/ABI・・・裏面参照。
- ・24時間血圧計検査・・・裏面参照。
- ・PSG検査（睡眠時無呼吸症候群の検査）

「普段の血圧測定では見つからない 高血圧がある」って知っていますか??

白衣高血圧、職場高血圧、早朝高血圧、夜間高血圧…

こんな高血圧、聞いたことがありますか?

知らず知らずのうちに、体に悪い影響を与えているかもしれません。

それを見つけることができるのが…、

『24時間血圧測定検査』です。

24時間、腕に血圧計を装着し、通常通りの生活をするだけの簡単な検査です（入浴は不可）。

こんな症状はありませんか?

- 足が冷たい
- 足がしびれる
- 5～10分歩くと足が痛くなる
- 足の指の色が青紫色

その症状の原因かもしれない病気を見つけることができるのが…

『血圧脈波検査(CAVI/ABI)』です。

足の血管の動脈硬化、足の血管の狭窄・閉塞の有無を知ることができます。

足首、上腕に血圧計を巻くだけの簡単な検査です。

上記の症状がある方、動脈硬化が気になる方、ぜひ検査してみませんか??

☆臨床検査課に新しい仲間が加わりました。～よろしくお願ひします～☆



鬼頭里恵

平成25年4月に、新しく臨床検査技師となりました。幼稚園のころからピアノを習っていて、今年で20年目に突入します。ピアノを上手に弾けるわけではありませんが、楽しく弾いています。今は未熟者ですが、皆さんに『頼りになるね』と言われるような臨床検査技師になれるよう日々努力していきます。

みなさん、はじめまして。4月から臨床検査課に入社してもうすぐ1年。出身は愛知県です。趣味はスノーボードとライブ鑑賞、特技は歌を歌うことです。私自身すべてにおいてまだ勉強中で、わからないことばかりですが一日も早く仕事を覚えられるよう頑張ります。どうぞよろしくお願ひします。



柴田真帆

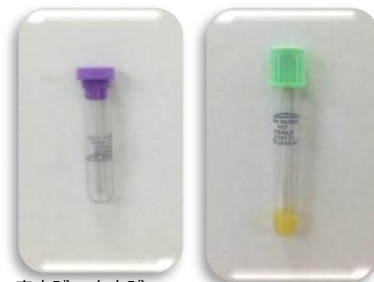
私たちから 検査フキ情報☆

今回は、「採血管」についてお話しします。

何本も採血された経験はありませんか?

なんで、こんなにもたくさんとるんだらう…? 血がなくなっちゃうよ…(-_-) 一本でできないのかな…? と思っている人もいるんじゃないでしょうか。

採血した血液は採血管に入れられ、検査室に運ばれます。採血管には多くの種類がありますが、採血管ごとに適した検査項目があります。代表的な2本について、紹介します。



赤血球・白血球・
血小板・ヘモグロビン

タンパク質、脂質、
グルコース、
AST、ALT、 γ -GTP
クレアチニン、尿酸、
電解質 など

医療法人 衆済会 増子記念病院

〒453-8566
名古屋市中村区竹橋町35番28号
TEL: (052) 451-1307
FAX: (052) 451-1324
ホームページ <http://www.syusaikai.com/>

増子クリニック 昂

〒453-0856
名古屋市中村区並木1丁目322番地
TEL: (052) 412-8211
FAX: (052) 414-2962



◆ 発行(2014年2月)
増子記念病院 広報委員会